

「カンボジア農村の子どもの教育と健康、経済状況の関わりについて」

経済学科 松岡弘樹(代表、他 12 名の共著)

私たちのゼミでは、カンボジア農村の子供の教育と健康、経済状況の関わりについて研究しました。

カンボジアは 10 年ほど前までの内戦によって経済発展が遅れています。現在は発展してきてはいますが、それは都市部を中心に発展しており、農村部は発展していない場合が多いのです。

カンボジアの農村部では子供への教育が十分に施されていません。一般的には金銭的な問題やインフラが整っていないことが挙げられますが、子供の健康が理由に挙げられることは少ないのです。

そこで、私達は「なぜ農村部の子どもたちが教育を受けることができないのか?」、また「農村部の子供たちの健康状態によって教育を受けることができないのか?」ということを疑問に感じ、カンボジアへ実際に行って、現地の人々の話などを聞くことによって疑問を解明していきたいと思いました。

実際にカンボジア農村に行って、学校に通っている子供を持つ一般家庭と村長、農村の近くにある保健所等でのインタビューを行い、そこで得たデータを用い研究しました。

この研究によって、家庭の経済状況の差が子供の健康と教育に与える影響と子供の健康が子供の教育に与える影響を明らかにしていき、これらの問題にどのような解決策があるのかを提示しました。

分析の結果から、カンボジアの農村の家庭の経済状況が子供の教育や健康に影響を与えているということ、そして、子供の健康が教育に影響を与えているということを明らかにしました。

今回の受賞を受け、これからも今回の調査分析を進めることで、他にどのような解決策があるのかなどを考え、具体的な解決の方向性を見出すことに力を入れていきたいと思います。

また、この研究をさらに発展させ、カンボジア農村や発展途上国の将来についても考えていきたいと思います。